

# 手作業で稲を刈り汗を流す

中里小・武田小  
が体験

稲刈りの体験を通じて農業へ興味を持ってもらおうと、若手農業者の会「ばろかだる会」が主催で、中里小学校の児童たちに稲刈りを、小野大海さんの田んぼで体験してもらいました。

この稲は、5月に児童たちが苗植えたもので、ばろかだる会会員たちが手入れを続けてきました。児童たちは成長ぶりに大喜びで、その後の作業では真剣な眼差しで作業に臨みました。

10月2日(水)には武田小学校の児童たちが、長利謙二さんの田んぼで稲刈りを体験しました。

長利さんは、かつての農業を紹介しながら、ワラで稲を縛り、最後は束を集めてワラ立てをつくって乾燥させる方法や、大正時代の脱穀機を見せて、現代の農業との違いを紹介していました。



## 宇宙の味はどんな味？

宇宙毛豆の  
摘み取り体験

宇宙毛豆の収穫体験を9月27日(金)に薄市こども園で、同園と中里こども園、富野こども園が合同で行いました。

この宇宙毛豆は、2010年に国際宇宙ステーション「きぼう」にもちこまれた種子を育て、受け継がれてきたもので、6月に薄市こども園の園児たちと県立五所川原農林高校の生徒たちが种植えをしました。摘み取りには五農生たちも駆けつけ、園児たちは楽しく教わりながら、力を込めて摘み取っていました。

摘み取り後は、茹でたての宇宙毛豆を試食し、薄市こども園の北畠瑞大くんは「かたくてチクチクした。おいしくて100個くらい食べた」と自身で植えた宇宙毛豆の生育をしっかりと味わっていたようでした。

